



No.249

高齢化に伴う医療費の増大が問題となる中、高齢者と若年世代の負担の明確化等を図る観点から、75歳以上の高齢者等を対象とした「後期高齢者医療制度」が平成20年から施行されています。

後期高齢者医療制度の被保険者の年齢構成等をみると、平成26年9月30日現在の被保険者数は15,547千人、うち75歳以上の被保険者数は15,179千人で、被保険者の97.6%を占めます（一定の障害の状態にあるとして認定を受けた65歳から74歳の被保険者数は367千人）。被保険者の平均年齢は82.3歳となっています。

主な所得種類の状況を見ると、「所得あり」が全体の45.7%、「所得なし」が53.9%となっています。さらに、「所得あり」の人の主な所得種類をみると、「雑所得・その他」が77.6%（全体の35.4%）、「財産所得」が10.3%（全体の4.7%）となっています。

なお、所得は収入から必要経費等を差し引く等して得られた所得（基礎控除前）で、「所

後期高齢者の所得

老後生活を支える資金は大丈夫ですか

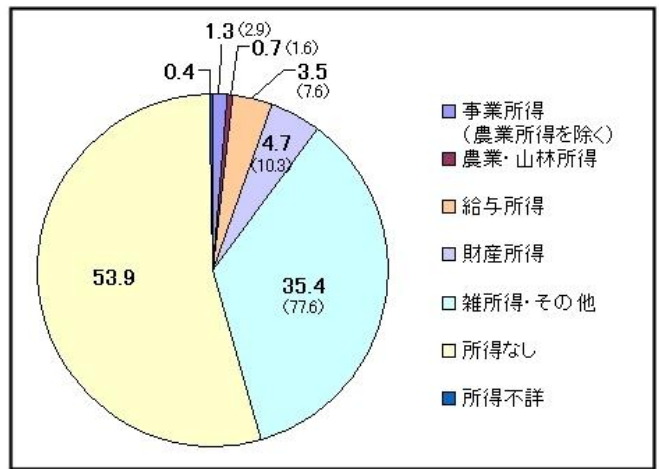
得なし」は所得額が0であって必ずしも収入がないということではありません。例えば、年金収入額が120万円未満の場合には公的年金等控除

割程度が所得額250万円未満となっています。1人当たり所得額は、主な所得が「財産所得」の被保険者が4,206千円で最も高くなっています。

により所得額は0円となります。財産所得は、不動産所得、利子・配当所得及び譲渡・一時所得です。

所得額階級別にみると、主な所得が「農業・山林所得」の9割程度が150万円未満、主な所得が「雑所得・その他」の9

主な所得種類別被保険者構成割合（%）



主な所得種類別、所得額階級別被保険者の構成割合（%）

所得額階級	合計 (所得不詳を除く)	所得あり					
		計	事業所得 (農業所得を除く)	農業・山林所得	給与所得	財産所得	雑所得・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
所得なし	54.1	-	-	-	-	-	-
30万円未満	8.2	17.9	25.9	46.1	15.1	13.1	17.9
30万円以上 ~ 50 "	4.2	9.1	14.0	13.9	18.0	6.8	8.2
50 " ~ 100 "	8.1	17.6	22.4	20.4	14.2	14.6	18.1
100 " ~ 150 "	8.3	18.1	10.9	8.3	9.9	11.0	20.3
150 " ~ 200 "	7.4	16.2	6.2	4.2	8.3	8.3	18.6
200 " ~ 250 "	4.1	8.9	4.0	2.3	5.3	6.5	9.9
250 " ~ 300 "	1.5	3.3	2.8	1.4	3.9	5.3	3.0
300 " ~ 400 "	1.5	3.2	3.6	1.5	5.7	8.3	2.2
400 " ~ 500 "	0.7	1.6	2.4	0.7	4.3	6.2	0.7
500 " ~ 700 "	0.7	1.5	2.7	0.5	4.7	7.2	0.4
700 " ~ 1,000 "	0.5	1.0	2.0	0.3	3.6	5.2	0.2
1,000 " ~	0.8	1.7	3.1	0.3	7.0	7.6	0.4
1人当たり所得額 (千円)	830	1,808	1,954	742	3,608	4,206	1,329

出典：厚生労働省「平成26年度 後期高齢者医療制度被保険者実態調査」

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル